

令和3年度 事業報告

I 事業概要

少子高齢化の進展により、長野県の高齢化率は32.5%（令和3年4月現在）となり、全国を上回る水準で高齢化が進んでいます。生産年齢人口の減少と併せ高齢化の急激な進展が、地域社会や産業の担い手不足に繋がり、地域活力の低下を招くことが懸念されています。

このような状況の中で今後も地域の活力を維持し、人生100年時代を見据えた多様な生き方を可能とするためには、高齢者が地域の担い手として年齢に関わりなく活躍し続けることができる社会づくりの促進が不可欠となっています。

このような中、国では主要政策プランに高齢者の就業促進を掲げ、高齢者に個々の意欲・能力に応じ、「支えられる側」から「社会の支え手」としての活躍を期待しています。

平成27年度から実施しているシルバー派遣事業は7年目を迎えましたが、当センター最大の発注者であった某社会福祉法人の契約解除により契約額が大幅に減り、今年度においては対前年比58%減の1,757万円の実績となりました。

また、従来からの請負による業務においては、某社会福祉法人の契約解除に加えて、新型コロナウイルス感染症の流行による受注減などの影響もあり、前年度を大幅に下回る結果になりました。

このような中で、今年度の請負と派遣を合わせた契約総額は1億5458万円となり、前年度を大幅に下回る結果になりました。

新規入会者が伸び悩む一方で、直接雇用にも名を借りた某社会福祉法人による会員の引き抜き行為が行われ、会員が大幅減となりました。加えて会員の就業ニーズの多様化等により、発注依頼があってもそれに十分応えられない状況も発生しています。

平成28年度から取り組みを始めた高齢者活用・現役世代雇用サポート事業は、この事業の趣旨である人手不足分野や現役世代を支える分野での就業促進のため、引き続き派遣コーディネーターを配置し、就業機会の拡大に努めました。

また、高齢者活躍人材確保育成事業では、長野県シルバー人材センター連合会の協力を得て「花木剪定講習」と「花のある暮らしとガーデニングセミナー」を開催し、センターのPRと会員の増加に努めました。

新型コロナウイルス感染症が地域経済に大きな影を落とし、契約実績は伸び悩みの状況ではありますが、会員各位の地道な日々の就業の積み重ねに敬意を表し、発注者の皆様や、市・村を始め国・県のご支援に深く感謝申し上げます。

今後さらに、会員の就業マナーや資質の向上を図るとともに、より一層信頼されるシルバー人材センターとなるよう役員及び会員が一丸となって事業の推進に取り組んでいきたいと考えています。

II 事業実施報告

1. 就業機会提供事業

(1) 受託事業

令和3年度は、管理部門及び剪定、草刈り、雪下ろし作業などの単発的な業務が増えましたが、新型コロナの影響による観光関連の受注減、加えて某社会福祉法人の契約解除の影響が影を落とし、全体としては前年度に比べ減となりました。

(2) 労働者派遣事業

平成27年度から開始し7年目を迎えたシルバー派遣事業は、某社会福祉法人の契約解除により契約額が大幅減となりました。

(3) 独自事業

① 正月飾り製作販売

しめ縄づくり・販売事業では4名の会員にて、しめ縄222本、門松112対を製作販売しました。

製作する会員の高齢化や退会等により後継者の確保が課題となっていることから、しめ縄づくり講習会を開催し7名の参加がありました。今後も講習会を継続し後継者育成につなげていくとともに、職群班として活動ができるよう組織の充実を図っていきたいと考えています。

② アンテナショップ「シルバーしろかね」での販売

「シルバーしろかね」は旧飯山駅観光案内所に設け、会員が交代で店番を務め、会員手作りの作品や野菜の販売など、4月から11月までの間、定休日なしで営業を行いました。

また、飯山市から委託されている「観光案内業務」と、飯山商工会議所から委託されている「七福の鐘」の管理とあわせ、飯山の観光案内に一役買うことができました。

(4) 指定管理事業

引き続き、飯山市屋内運動場の指定管理事業を受託しました。

2. 就業機会確保・雇用サポート事業

(1) 安全・適正就業事業の推進

① 安全・適正就業対策推進の重点目標を「危険ゼロ」と定め、具体的取組みとして、「安全ミーティングの完全実施」、「安全装備使用の徹底」、「健康診断受診及び健康体操の奨励」、「交通事故防止」を掲げ取り組みを行いました。

除草、剪定、冬囲い作業の現場で安全パトロールを実施し、安全ミーティングの推進、会員の事故防止に努めました。

② 安全・適性就業に係る標語の募集では当センター会員から9点の応募がありました。

③ 例年開催される長野県シルバー人材センター連合会主催「安全・適正就業推進

大会」は新型コロナ感染症予防の観点から開催が見送られました。

④ 事故発生状況

今年度は、傷害事故が 11 件、損害賠償事故が 10 件、交通事故が 5 件発生しました。例年に比べて発生件数が著しく多い結果となり、会員には事故防止に向けての意識を高く持っていただくことが必要です。

【事故発生内容】

区 分	件数	内 容
傷害事故	11	就業途上でのケガ（保険対象） 4 件 請負就業でケガ（保険対象） 5 件 派遣先でケガ（派遣先保険対応） 1 件 熱中症（見舞金対象） 1 件
賠償責任事故	10	草刈り作業中に窓ガラス等を破損 3 件 雪下ろし作業中に窓ガラス等を破損 7 件
交通事故（物損）	5	自損事故（派遣先事業所負担） 5 件

⑤ 中野自動車学校に安全運転適性講習会を委託し、座学・実技による法令遵守、運転評価、検査機による運転適性検査等について、運転業務に就業している会員 8 名が受講しました。

⑥ 適正就業検討委員会を開催し、ローテーション就業の取り組み等、会員の適正就業を推進しました。

⑦ 会員向け情報紙「かわら版」で、事故防止等の注意喚起を行いました。

（2）普及啓発事業の推進

① 例年開催されるシルバー祭り及び木島平村民祭は新型コロナの影響で中止となりましたが、シルバーしろかねにおいて、宣伝チラシや啓発用品を配布し、普及啓発に努めました。

② 会報「シルバー飯山地域」第 28 号を発行し飯山市・木島平村の広報誌とともに全戸配付しました。

③ 会員募集チラシの新聞折り込み、北信濃新聞、飯山市・木島平村の広報誌に会員募集の広告を掲載して会員拡大に努めました。

④ シルバー人材センターを地域の皆様に広く知っていただくため、各地域において除草や清掃作業などボランティア活動を実施しました。

【ボランティア活動実施状況】

ボランティア実施場所	作業内容	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
飯山市屋内運動場（7 月）	除草	26 人	46 人	34 人
飯山市屋内運動場（9 月）	除草	34 人	雨天中止	37 人
各地区活性化センター等	除草、清掃	75 人	57 人	76 人
木島平村社協（7 月）	除草	20 人	27 人	24 人
合 計		155 人	130 人	171 人

(3) 就業開拓提供事業

- ① 9月において、官公庁・民間事業所等を訪問し、シルバー人材センター事業の理解を得るとともに、就業機会の確保と新規受注開拓に努めました。
- ② 入会説明会を毎月第二水曜日に開催しました。7月と3月は木島平村においても開催し会員拡大に努めました。
- ③ 4つの職群班においては、会員のスキルアップと後継者育成を目的に研修会開催し、併せて就業開拓も進めました。

【各職群班実績・研修会】

班名	受注件数	延べ日人員	契約金額	研修会
観光ガイド班	5件	9人	21千円	観光ガイド研修 飯綱町へ (6/10)
庭木整姿班	350件	1,000人	8,606千円	剪定講習会 屋内運動場周辺 (6/16)
冬囲い班	321件	1,094人	6,056千円	冬囲い講習会 屋内運動場周辺 (10/12)
除雪班	266件	1,146人	7,086千円	

(4) 会員研修会の開催

「マナー研修会」については、新型コロナウイルス感染症予防の観点から開催を見送りました。

(5) 調査研究事業の推進

理事・監事の役員で、福島県喜多方市シルバー人材センターの視察を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から実施を見送りました。

(6) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

人手不足分野や現役世代を支える分野での就業促進のため、派遣コーディネーターを配置し、請負・委任になじまない就労を派遣事業への切り替えを進め、さらに就業の機会を拡大するための取り組みを行いました。

3. 高齢者活躍人材確保育成事業

県シルバー人材センター連合会の協力を得て高齢者活躍人材確保育成事業を2講座開催し、センターのPRと会員増加に努めました。

7月「花木剪定講習」 受講者 5名

9月「花のある暮らしとガーデニングセミナー」 受講者 10名

4. 設立30周年記念式典

設立30周年記念事業実行委員会を組織し、式典部会及び記念誌部会を開催する中で事業を行いました。

式典部会 … 10月28日(木)、飯山市文化交流館「なちゅら」において、

記念式典を開催しました。

記念誌部会 … 設立30周年記念誌を発行し、会員に配付しました。

5. 組織運営体制と財政基盤の強化

(1) 理事会は11回開催しました。

【理事会開催状況】

期 日	議事事項・主な協議事項
第1回 4月26日	正会員の入会承認について 令和2年度事業報告及び収支決算報告の承認について 令和3年度定時総会について
第2回 5月28日	正会員の入会承認について 定時総会の運営について
第3回 6月17日	正会員の入会承認について 各部会の年間計画について ボランティア活動について
第4回 7月28日	正会員の入会承認について 市・村への要請活動について 高齢者活躍人材確保育成事業について
第5回 8月19日	正会員の入会承認について 役員先進地視察研修について インボイス制度について
第6回 9月21日	正会員の入会承認について 設立30周年記念式典について 地域班会議について
第7回 10月21日	正会員の入会承認について 設立30周年記念式典について 事務費率の改定について 執行理事の職務執行状況について 事業所訪問の結果について 地域班会議の開催状況について
第8回 11月25日	正会員の入会承認について 令和4年度受注単価見積基準について 令和4年度役員改選にともなう候補者の内申について 地域班会議の開催結果について
第9回 12月21日	正会員の入会承認について 令和4年度定時総会について 会員拡大推進月間について

	シルバーしろかねの運営実績について
第10回 2月17日	正会員の入会承認について 各部会の令和3年度事業報告・令和4年度事業計画について 令和4年度年間計画について 適正就業に関する要綱の推進結果について
第11回 3月24日	正会員の入会承認について 令和3年度収支補正予算について 令和4年度事業計画及び収支予算について

- (2) 自治体からの運営費補助の限度額確保のため、飯山市、木島平村への支援要請をそれぞれ8月26日と27日に行いました。
- (3) 連絡員会議を6月に開催しました。地域班会議は10月～11月に10地区で開催し、156名の出席がありました。会員、役員、事務局との情報交換を行い、会員のシルバー人材センター事業への意識高揚に努めるとともに、会員の意見や要望を事業運営に反映させることに努めました。
- (4) 会員による「1人1会員入会運動」を推進し、今年度入会された会員（32名）のうち11名が会員の紹介によるものでした。
- (5) 会員相互の親睦を深めるため、会員互助会への支援を行いました。